

barrier-free film

バリアフリー映画祭 2010

11月26日▶11月28日

バリアフリーさが映画祭2010記念

バリアフリー映画公開研究会 さが



佐賀県 障害福祉課



<http://www.pref.saga.lg.jp/>



バリアフリー さが映画祭2010

barrier-free film

バリアフリー映画祭 2010

11月26日▶11月28日

期 日：11月26日(金)～28日(日)

場 所：佐賀市(アバンセ、シアターシエマ)

内 容 / バリアフリー映画の上映

/ 監督、出演者によるシアタートーク

/ シンポジウム など

記念イベント

「バリアフリー映画公開研究会inさが」



バリアフリー映画 公開研究会inさが

barrier-free film

バリアフリー映画祭2010
11月26日▶11月28日 🎬

日時:11月26日(金)、10:00~12:00

場所:アバンセ第1研修室

内容:

- ・中島佐和子(東大インテリジェント・モデリング・ラボラトリー)
「“透視型MRメガネ”の開発について」
- ・大河内直之(東大先端科学技術研究センター)
「バリアフリー映画の可能性～研究者からの視点」
- ・シンポジウム「バリアフリー映画をスタンダードに」
大和田廣樹(ドリームキッド代表)、
飯泉菜穂子(世田谷福祉専門学校)、
井野秀一(産業技術総合研究所) ほか



上映作品



上映作品が
決定しました。

11/26(金)

『武士の家計簿』(森田芳光監督)

『ニセ札』(木村祐一監督)

『おくりびと』(滝田洋二郎監督)

全国ロードショー(12月4日)に先駆けて上映(無料特別御招待)
ロケ地の石川及び東京以外では唯一

11/27(土)

『耳をすませば』(近藤喜文監督)

『ぐるりのこと。』(橋口亮輔監督)

『牛の鈴音』(イ・チュンニョル監督)



11/28(日)

『猫の恩返し』(森田宏幸監督)

『老人と海』(ジャン・ユンカーマン監督)

『酔いがさめたら、うちに帰ろう。』(監督:東陽一)

【老人と海】©1980 シグロ, 【おくりびと】©2008 映画「おくりびと」製作委員会,
【猫の恩返し】©2002 鎌乃手堂・GNDHMT, 【牛の鈴音】©2008 STUDIO NURIMBO,
【耳をすませば】©1995 株あおい/集英社・二萬力・GNH, 【ニセ札】©2009 『ニセ札』製作委員会,
【ぐるりのこと。】©2008 『ぐるりのこと。』プロデューサーズ,

全国ロードショー(12月4日)に先駆けて上映

バリアフリー映画は 皆が楽しめます



バリアフリー映画には、映画監督などが直接制作に関わった「副音声」と「字幕」が付いています。

「副音声」は活弁士によるもので、聴覚に障害のない方にとっても、その新しい魅力を感じていただけます。

実際に体験してみてください。

『酔いがさめたら、うちに帰ろう。』(東陽一監督)



『おくりびと』、『耳をすませば』には活動弁士佐々木亜希子さんの副音声ライブが付きます。

チケット料金

チケット区分	一般 大学生	幼児(3歳～) 小学生～高校生 障害者、介助者(1名)
前売券	500円	300円
当日券	800円	

『武士の家計簿』(オープニング作品) / 鑑賞無料

『酔いがさめたら、うちに帰ろう。』(クロージング作品)

一般・大学生 / 1500円(1800円)

幼児、小学生～高校生、障害者、介助者 800円(1千円)

()内は当日券

幼児(2歳以下)は無料。ただし、同伴者と一緒の席をご利用ください。

チケット購入方法

チケット申し込みは 10月1日から
「JTB各店舗」で絶賛受付中

その他の方法

ファミリーマート、ローソン、サークルKサンクス

オンライン申込 (JTBエンタメチケット) <http://www.jtb.co.jp/ticket/>

電話・FAX申込 (JTB九州イベントデスク)

TEL: 0570-012-700 (平日10:30 ~ 17:00)

FAX: 092-751-9200

「武士の家計簿」を鑑賞希望の方、または聴覚・視覚障害者の方は
JTB九州イベントデスクでお求めください。



11月26日▶11月28日

バリアフリー
映画祭 2010

barrier-free film

皆さんの御参加を
お待ちしております。



バリアフリーさが映画祭

検索

お問い合わせ先

健康福祉本部 障害福祉課(施設担当) 中島、江頭

TEL:0952-25-7064

E-Mail:shougai Fukushi@pref.saga.lg.jp

<http://www.pref.saga.lg.jp>



“一步前に 一步こころへ”